

2016 春闘勝利総決起集会

復興の第2ステージの中にある！

～参議院議員選挙を勝利しよう～

「2016 春季生活闘争勝利・参議院議員選挙勝利福島県中央総決起集会」は、3月5日（土）晴天の中、福島市の県庁前東広場において、県北地域の構成組織から約1,500名が参加して開催された。

主催者を代表して今泉裕連合福島会長は「東日本大震災から丸5年を迎え、福島県の復興は第2ステージに突入した。2016 春季生活闘争も復興の第2ステージの中にある。取り巻く環境は昨年末から徐々に厳しさを増しているが、連合福島に結集する構成組織は、月例賃金



集会に参加した構成組織の皆さん

引上げに重きをおき、経済の好循環実現のため、春闘勝利に向け、積極的に取り組まなければならない。同時に、運動の両輪として位置付けている政策制度の実現も大変重要な取り組みであり、当然のことながらその実現には政治の力が求められる。従って7月に予定されている参議院議員選挙の勝利に向けた取り組みも極めて重要である。組織内11名の候補者の勝利と福島県選挙区増子輝彦参議院議員の勝利を何としてでも勝ち取らなければならない。」と挨拶した。

また、集会の中では構成組織を代表して、自治労福島県本部の丹治執行委員、UAゼンセン福島県支部の渡邊常任、交通労連福島県支部の遠藤委員長から、今次春闘に対する取り組みの決意が述べられた。次に増子輝彦参議院議員から7月の参議院議員選挙に向けての決意表明がなされた。その後、遠藤副会長から集会アピール（案）が読み上げられて採択され、最後に今泉会長のガンバロー三唱で集会は幕を閉じた。

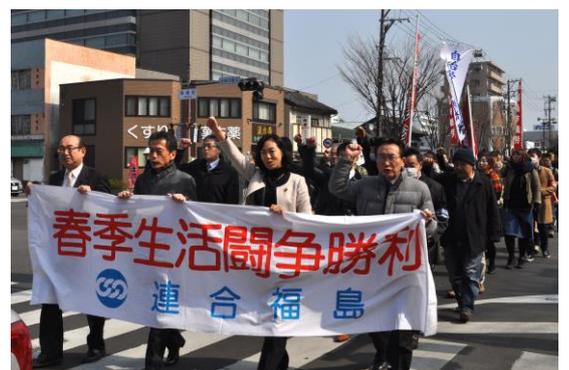
集会終了後、3年振りに県庁から福島駅前まで、沿道の市民に2016 春季生活闘争の主張をアピールしながらデモ行進を行った。



主催者を代表し挨拶をする今泉裕連合福島会長
主催者を代表し挨拶をする今泉裕連合福島会長
経済の好循環実現のため、春闘勝利に向け、積極的に取り組まなければならない。同時に、運動の両輪として位置付けている政策制度の実現も大変重要な



春闘勝利に向け力強くガンバロー三唱



デモ行進で春闘の主張をアピール